



小学校版「SOSの受け止め方指導プラン」(小学校中学年)

- 1 ねらい 相手が話しやすい聴き方のポイントを知り、ロールプレイを通して、相手が話しやすい聴き方を理解することができるようにする。
- 2 準備 ワークシート 授業用スライド 印刷したスライド 電子黒板 パソコン T 2 (管理職や専門の先生等) との事前打ち合わせ
- 3 展開

過程(時間)	主な学習活動 ☆：児童の反応	指導上の留意点及び支援 指：指示 発：発問
(5分)	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○児童集会の内容を思い出し、友達の心のモヤモヤをすっきりさせる聴き方について考えることを知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・集会のスライドから、「友達の様子がいつもと違うことに気付く」「自分から声を掛ける」ことを確認し、本時の学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> めあて：友達が話しやすい聴き方に挑戦しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてにつながるよう、児童集会の内容をスライドを見ながら確認できるようにする。 ・本時は、「相手が話しやすい聴き方」に重点をおいて話し合うことを伝える。 <p>指：「友達がいつもと違うなと気付いたら、自分から声を掛けられるといいですね。そこで、今日は友達が話しやすい聴き方に挑戦してみましよう。」</p>
(15分)	<p>2 友達の心のモヤモヤ(不安や悩み)を聴くときに、大切なことを考える。</p> <p>○友達の心のモヤモヤを聴くときに、相手が「話しやすい聴き方」と「話しにくい聴き方」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任とT2の役割演技をみて、友達が①「話しにくい聴き方」と②「話しやすい聴き方」の違いに気付く。 ・2つのロールプレイを見て、気付いたことをワークシートに書く。 <p>☆友達の方を向いて聴いている。 ☆うなずきながら聴いている。 ☆優しい口調で話している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任とT2がロールプレイをし、相手が「話しやすい聴き方」と「話しにくい聴き方」の2通りを行う。 ・ロールプレイを始める前に、話を聴く時の態度に注目して考えるように伝える。 ・相談の内容は、児童が行う台本と同じものを使って行うようにする。 <p>発：「友達の相談を聴くときに、友達が話しやすい聴き方と、友達が話しにくい聴き方を見て、気付いたことを書きましよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことを近くの友達と共有したり、数人の児童に発表をさせたりして、

☆腕組みをして、友達の方を見
ないで聴いている。
☆あまり関心が無いような聴き
方をしている。

・お手本のロールプレイを見た
感想を発表する。
☆「話しやすい聴き方」は、気
持ちは分かってくれているよ
うな気持ちになれるな。
☆「話しやすい聴き方」は、ま
た相談したいなって思うな。
☆「話しにくい聴き方」は、
もっとモヤモヤしてしまうか
も。

友達の考えを書いてもよいことを伝え
る。

【手本のロールプレイで意識すること】

- ①話しにくい聴き方（友達の変化に気付
かず、友達から相談をされた時）
- ・相手を見ない
 - ・腕組みをしながら聴く
 - ・相手の様子に合わない口調で受け答え
をする
- ②話しやすい聴き方（友達の変化に気付
き、自分から声を掛けた時）
- ・相手に顔や体を向ける
 - ・うなずきながら聴く
 - ・穏やかな口調で受け答えるをする

**発：「2つの聴き方はどうでしたか。聴
き方について、発表してください。」**

・相手の聴き方で良かったところを発表
させることで、相手が話しやすい聴き
方のポイントにつながるようにする。

(5分) 3 「相談の受け止めさん」に
ついて知る。

- 友達の心のモヤモヤを聴くと
きのポイントを確認する。
- ・黒板に掲示されたプレートや
ワークシートにあるイラスト
を見て確認をする。



・どのような聴き方であれば、友達が話
しやすいかポイントを伝える。

**指：「友達が話をしたくなるような聴き
方ができると、安心して相談をする
ことができます。普段から意識でき
るといいなというポイントがありま
す。」**

補助説明：「話を聴く時に、大切に
して欲しいことが3つあります。友達
の様子がいつもと違うなと思ったら、
まず、自分から声を掛けましょう。
そして、話をするときには、相手の
顔を見て、うなずきながら聴きま
しょう。相手に、聴いているよ、
という気持ちが伝わるとよいです
ね。」

<p>(12分)</p>	<p>4 友達の心のモヤモヤの聴き方を練習する。</p> <p>○具体的な場面を使って、友達が話しやすい聴き方を練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ならどの言葉を使うか考え、丸を付ける。 ・立場を決めて、座席の隣同士で行ったり、グループで行ったりする。 <p>○T2の話を読み、話の聴き方で大切なことについて理解を深める。</p> <p>☆相手の気持ちになって話が聴けるとよいんだな。</p> <p>☆相手の心のモヤモヤを受け止めるように聴きたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談の受け止めさん」を使って、心のモヤモヤを受け止める聴き方の練習をさせる。 <p>指：「相談の受け止めさんを使って、友達の心のモヤモヤをすっきりさせる聴き方の練習をしましょう。」</p> <p>指：自分ならどの言葉を使うか考え、選んだ言葉に丸を付けましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己選択の部分について記入ができているか確認をする。 ・時間があれば、席を離れていろいろな相手と練習ができるように声を掛ける。 ・T2にロールプレイの様子を賞賛してもらったり、「聴き方」に関する話をしてもらったりする。 ・時間があれば、数人に感想を発表してもらおうことを伝える。
<p>(8分)</p>	<p>5 授業内容の振り返りをする。</p> <p>○全校集会で使用したスライドや、友達の考えを振り返りながら、学習内容を振り返る。</p> <div data-bbox="343 1198 805 1355" style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>○本時の感想を書く。</p> <p>☆これから「受け止めさん」を上手にを使って友達の話を聴きたい。</p> <p>☆みんなが気持ちよく生活できるよう、これからも友達の悩みを聴いてあげたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で確認されたキーワードを振り返り、今後の生活に生かして行けるようにさせる。 <p>指：「受け止めさんのことを頭に入れて、時々使ってみて、友達も自分も安心して生活できるとよいですね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T2から、授業の感想や児童に向けて「友達の話を最後まできちんと聴く」「相談をされて困った時は、先生等に伝えてみる」等の話をもらう。 ・本時の学習の自己評価をさせ、分かったことやこれからできそうなことについて感想を書くように伝える。

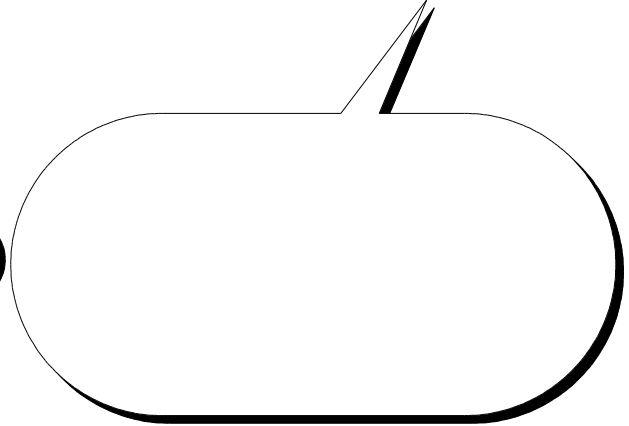
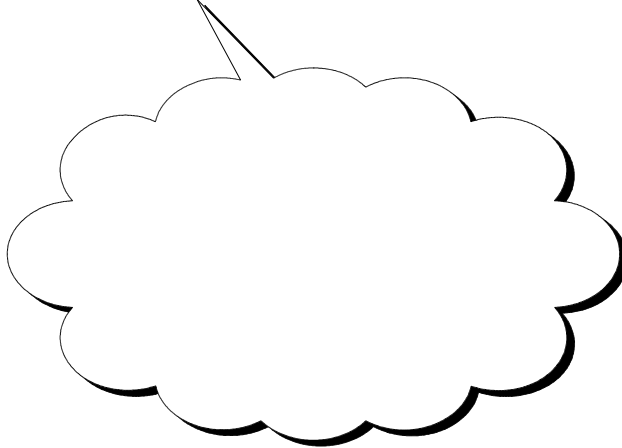
友達が話しやすい聞き方に挑戦しよう!

年 組 番 名前()

☆ 友達の「こころのモヤモヤ」を聴く時に、友達が「話しにくい聴き方」と「話しやすい聴き方」で気付いたことを書きましょう。

① 友達が話しにくい聴き方

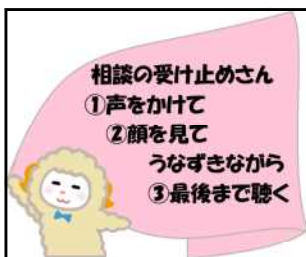
② 友達が話しやすい聴き方



☆ 今日の学習の、感想を書きましょう。

Handwriting practice area with five horizontal lines inside a dashed border.

☆ 友達が話しやすい聴き方が分かりましたか？
自分の気持ちの近いところに○をつけましょう。



とても
分かった

あまり
分からない

【友達の様子】

- * いつも遊んでいる友達からかりた消しゴムが、割れてしまった。
- * あやまったら許してくれたけど、まだ怒っている気がする。
- * それからなんだか、声をかけづらい…。モヤモヤ…。

☆「相談の受け止めさん」を使って、友達の心のモヤモヤを聴きましょう。

「_____」のところは、自分の考えに近いものに○をしましょう！

【セリフ】

自分：() 「〇〇くん(ちゃん) 元気がないね。何かあったの?」

() 「〇〇くん(ちゃん) ずっとだまってるけど、どうしたの?」

() 「〇〇くん(ちゃん) いつもとちがうね。どうしたの?」

友達：「うん…。ちょっとね…。話、きいてくれる?」

自分：「いいよ! 話してみて。」

友達：「きのう、友達に消しゴムをかりただけど、字を消している時にわっちゃって…。」

自分「うん、うん。」

友達：「すぐにあやまって、ゆるしてくれたんだけど…。まだおこってるような気がする、声をかけられないんだ…。」

自分：「そっかあ。おこってる気がするんだね。それで、〇〇くん(ちゃん)はどうしたいの?」

友達：「またいっしょに遊びたいんだけど…。」

自分：「うんうん。またいっしょに遊びたいんだね? ほかに心配なことある?」

友達：「今は、そのことだけかな…。聴いてくれてありがとう。少しすっきりしたよ。」

自分：「こちらこそ話してくれてありがとう。また話してくれる? 他のことでもいいからね。」

友達：「うん、ありがとう!」



☆おしまい☆